8月は佐賀県同和問題啓発強調月間です

同和問題とは、どのような問題なのですか？

人は、自分の意思で生まれてくるところを選ぶことができません。なかでも同じ日本人でありながら、被差別部落の出身という理由で、就職や結婚などでいわれのない差別を受け、基本的人権を侵害されている人々がいるという社会問題があります。

このような社会問題を「同和問題」といいます。

「そっとしておけば差別はなくなるのでは」という人がいますが・・

上でも述べたとおり、差別は今も残っています。それは、正しいことを正しく伝えなかったり、多くの人が「できることならかかわりたくない」「傍観者でいたい」あるいは「そのうち自然になくなるから・・・」などとして同和問題と向き合うことなく避けてきたからです。その結果、偏見や誤った考えが人から人へと伝えられ、差別が繰り返されているのです。

どうして今も同和問題があるのですか？

明治４年に、いわゆる「解放令」が公布され、長い間続いていた身分差別は制度上なくなりましたが、形式的なものにとどまり具体的な施策は行われてきませんでした。

昭和21年には基本的人権を保障した日本国憲法が公布されましたが、今日でも人々の意識のなかに存在する差別や偏見は容易に解消されず、同和問題はいまだ解決されていません。

差別をなくすには

人々の心の中に潜在する差別意識をなくし、同和問題を解決するには行政だけでは解決できるものではありません。私たち一人ひとりが同和問題について正しい理解と認識を深めるとともに、他人事と考えず自らの課題としてとらえ、より一層人権意識を高めることが何よりも大切なことです。

多久市同和問題講演会

高橋 祐次郎 氏

入場は無料です。みなさまのご参加をおまちしています。

日　時　８月18日㈫　　**受　付**　13時30分
　　開　演　14時

会　場　中央公民館　大ホール

講　演　テーマ「津軽三味線の奏でる命の響き」

講　師　高橋　祐次郎氏（津軽三味線奏者）

・当日は託児所がありますので、ご利用の方は８月12日㈬までに、下記へお申し込みください。

■問い合わせ　人権・同和対策課　☎75－4824